

# 実施状況報告書 チェックリスト（基金分）

※国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）を除く

このチェックリストは実施状況報告書の入力等の誤りをなくし、修正等の事務手続きを軽減するため、その記載事項の主な確認点をまとめたものです（作成上の注意も併せてご確認ください。）。

「交付申請書」「交付決定通知書」「収支簿」「変更承認書」（該当がある場合のみ）等に基づき、個々の課題について実施状況報告書を作成した後、このチェックリストにより確認し、提出してください（チェックリストの提出は不要です。）。

## 1. 共通事項

チェックの観点	備考
<input type="checkbox"/> 正しい様式を使用しているか。	様式番号が「F-6-1」「F-7-1」となっているか。
<input type="checkbox"/> 全ページが揃っているか。	
<input type="checkbox"/> A4判（縦長）・両面印刷しているか。	「収支状況報告書（様式F-6-1）」と「研究実施状況報告書（様式F-7-1）」は別の用紙に印刷すること。
<input type="checkbox"/> 訂正印及び修正液等の使用がないか。	本様式の作成時に誤入力があった場合には、改めて作成すること。
<input type="checkbox"/> 電子申請システム対応事業の場合、電子申請システムで作成した最終版となっているか。	電子申請システムを使用して作成すること。 全てのページの右上に印字される版数と、科研費電子申請システムで最後に送信した版数は一致させること。
<input type="checkbox"/> 文字化けや誤字・脱字がないか。	文字化けの発生や別の文字として認識される場合があるため、JIS第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用しないこと。

## 2. 収支状況報告書（様式F-6-1）

2～3頁を参照してください。

## 3. 研究実施状況報告書（様式F-7-1）

4～8頁を参照してください。

### 研究実施状況報告書の基本的な考え方

科研費は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められている。

「研究実施状況報告書（様式F-7-1）」は、当該年度に実施した研究の成果や研究の進捗状況に関する自己点検による評価等を記載するものであり、国立情報学研究所の科学研究費助成事業データベース（KAKEN）（<https://kaken.nii.ac.jp/>）において広く公開する。研究協力者等の個人名等の個人情報を入力する場合は、本人の承諾を得ること。

様式 F-6-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C）（一般））実施状況報告書（収支状況報告書）（平成29年度）

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿 平成30年5月

研究代表者	所属研究機関の本部の所在地	〒000-0000 東京都〇〇区〇〇2-5-1		<input type="checkbox"/> 実施状況報告対象年度となっているか（特に、2年度目以降の場合には、対象年度より前の年度のものを印刷していいか。）。 <input type="checkbox"/> 平成30年3月末時点での情報が記載されているか。 <input type="checkbox"/> 押印されているか。
	所属研究機関・部局・職名	〇〇大学・〇〇研究科・教授		
	フリガナ	〇〇 〇〇		
	氏名	〇〇 〇〇		

研究課題名	〇〇の××に関する総合的研究	交付決定額	5,460,000 円
補助事業期間	平成28年度～平成31年度	うち既受領額累計(a)	3,510,000 円
		うち支出額累計(b)	3,459,000 円
		差引額 (a-b)	51,000 円

費目別収支状況等

	合計 (c+d)	直接経費					間接経費 譲渡額 (d)
		物品	旅費	印刷費・雑費	その他	計 (c)	
交付決定額の内訳	円 5,460,000	円 3,500				円 4,200,000	円 1,260,000
実支出額の累計額	3,459,000	2,300,000	149,000	0	200,000	2,649,000	810,000
うち当該年度の実支出額 (A)	1,860,000	1,300,000	100,000	0	100,000	1,500,000	360,000

	合計 (i+j)	前年度未使用額 (e)	支払請求額 (f)	前倒し支払請求額 (g)	受入利息 (h)	計 (i)	間接経費譲渡額 (j)
当該年度の所要額 (B)	円 1,911,000	円 351,000 (1,000)	円 1,000,000	円 200,000	円	円 1,551,000	円 360,000
次年度使用額 (B-A)	円 51,000						

備考欄

直接経費内訳変更：平成29年12月22日

補助事業を中断し（1年未満の中断を含む）、当該年度に支出実績がない場合は、その中断事由及び中断期間が記載してあるか。

平成30年3月31日時点での設置機関名が記載されているか。

主要な物品明細書（一品又は一組若しくは一式の価格が50万円以上のもの）

物品名	仕様・性能等	数量	単価 (円)	金額 (円)	設置研究機関名 (納入日)
●▲■×装置	(株) ●▲■ RN-SWR	1	500,000	500,000	〇〇大学 (H29.12.12)
●▲■×装置 (共用)	(株) ●▲■ RN-SWR	1	31,500,000	31,500,000 (500,000)	〇〇大学 (H29.10.15)
●▲■×装置 (合算)	(株) ●▲■ RN-SWR	1	31,500,000	31,500,000 (500,000)	〇〇大学 (H29.10.15)
西洋中世政治史関係図書 (30冊)	●▲■出版 他	1		52,000	▲▲大学 (H30.1.17)

課題番号 16K3 合算使用により購入した場合は、本科研費で負担した額を ( ) 書きで記載しているか。

該当する主要な物品が全て記載されているか。

(注) ・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

補助事業者						
研究代表者及び研究分担者			直接経費		間接経費の 譲渡額	備 考
所属研究機関 ・部局・職名	氏 名	研究者番号	実支出額 の累計額	当該年度 実支出額		
〇〇大学・〇〇研究科・教授	〇 〇 〇 〇	10765432	円 1,849,000	円 1,000,000	円 210,000	(110,000) ☆☆大学 (100,000) 〇〇大学 変更：平成 29 年×月 ×日
〇〇大学・〇〇学部・准教授	× × × ×	20456789	250,000	200,000	90,000	<input type="checkbox"/> 当該年度中に所属研究機関を変更した場合は、備考欄に( )書きでそれぞれの研究機関への譲渡額が記載されているか。  削除：平成 30 年×月×日  追加：平成 29 年×月×日
〇〇大学・〇〇学部・助教	☆ ☆ ☆ ☆	20345678	250,000	100,000	0	
▲▲大学・▲▲学部・助教	▲ ▲ ▲ ▲	20876543	50,000	0	0	
□□大学・□□研究所・教授	□ □ □ □	30987654	250,000	200,000	60,000	
計 (小計)	5 名		2,649,000 円	1,500,000 円	360,000 円	
			課題番号	16K34567	機関番号	12345

研究代表者は平成30年3月末時点での情報が記載されているか。  
 研究分担者は平成30年3月末又は削除の事実発生日時点の情報が記載されているか。  
 部局・職名は実際の部局名・職名が記載されているか。

円単位となっており、収支簿等と齟齬がないか。  
 利息が含まれていないか。

それぞれの研究機関に譲渡された平成29年度の間接経費が正しく記載されているか(実際に執行した額ではない)。  
 ※同一機関に所属する補助事業者の間接経費の譲渡額は、任意の二者に合計額を記載可。ただし、当該年度途中で所属研究機関を変更した場合は、同一機関の合計額には含めないこと。

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。





13. 研究発表（平成29年度の研究成果）

- 掲載、発表、発行が確定している研究発表のみの記載となっているか。
- 発行年や巻・頁が正しく記載されているか（掲載等後にも関わらず未定となっていないか。）。
- 1人で行う研究で、研究代表者が発表等を行っていない場合は、当該課題の成果であるか。

[雑誌論文] 計 (2) 件 / うち査読付論文 計 (1) 件 / うち国際共著 計 (1) 件 / うちオープンアクセス 計 (1) 件

著者名	論文標題				
〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, et al.	〇〇〇の研究				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
JOURNAL OF 〇〇〇〇〇〇〇〇	有	1巻	2017	19~32	該当する
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)					
10.1002/acbd123987					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている (また、その予定である)					

電子ジャーナル等でページ数がない場合は「-」、掲載が確定しているが未定の場合は「印刷中」等と記載されているか。

著者名	論文標題				
〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇	〇〇〇の〇〇〇に向けた応用展開				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
〇〇ジャーナル	無	VOL. 13	2017	-	-
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

[学会発表] 計 (1) 件 / うち招待講演 計 (1) 件 / うち国際学会 計 (1) 件

発表者名	発表標題		
〇〇 〇〇	〇〇〇の研究の発展的展開		
学会等名	発表年月日	発表場所	
応用〇〇学会 (招待講演) (国際学会)	2017年07月10日~2017年07月13日	〇〇国際会館 (東京都千代田区)	

都市名、都道府県、会場名等、できるだけ具体的に記載しているか。  
 海外の場合には国名も記載されているか。

[図 書] 計 (1) 件

著 者 名	出 版 社		
〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇 〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、.....、〇〇 〇 〇 他	〇〇〇出版		
書 名		発 行 年	総ページ数
〇〇〇〇〇〇		2018	525 (123-139)

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

[出 願] 計 (1) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
〇〇の〇〇技術	〇〇 〇〇	〇〇大学	特許、特願2017-217666	2017年6月1日	国内

[取 得] 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

[国際研究集会] 計 (1) 件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所
〇〇〇〇	2017年7月10日～2017年7月13日	〇〇国際会館（東京都千代田区）

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究： 国際共同研究である

都市名、都道府県、会場名等、できるだけ具体的に記載しているか。  
 海外の場合には国名も記載されているか。

共同研究相手国	相手方研究機関			
アメリカ	〇〇大学	〇〇大学	〇〇研究所	他 2 機関
ドイツ	〇〇大学	〇〇大学	〇〇研究所	他 2 機関
フランス	〇〇大学	〇〇大学	—	他 機関
ロシア	〇〇大学	—	—	他 機関
中国	〇〇大学	—	—	他 機関
他 2 か国				他 機関

□相手方研究機関が3機関を超えない場合は、「他〇機関」とまとめずに、それぞれの研究機関名が記載されているか。

## 17. 備考

□共同研究相手国が5か国を超えない場合は、「他〇か国」とまとめ

〇〇大学〇〇 〇〇に、それぞれの国名が記載されているか。

<http://monnbudai.gaku.com/tokyo/kakemini/seika>